

# 学生発 地域情報サイト

地域 PLUS ふらす



「わたな」を創業した(左から)宮古さん、山田さん、澤田さん

## 青公大3人が起業 飲食店など紹介

**青森** 情報通信技術(ICT)を活用して地域を盛り上げようと、青森公立大学の学生3人が学生ベンチャー企業「わたな」を創業し、事業に取り組んでいる。9日には青森市を中心とする地域情報を集めたインターネットサイト「Locoty(ロコティ)」青森を開発。イベントやグルメ情報のほか、インタビューやコラム記事を掲載している。メンバーは「県内で最も有名なサイトになることが目標」と意気込みを語る。(山口拓郎)

## 記事も執筆 「県内で最も有名に」

会社を立ち上げたのは、いずれも同大学経営経済学部地域みらい学科4年の山田晴香さん、宮古紗紀さん、澤田宇京さん。山田さんが代表、宮古さんと澤田さんは取締役を務める。3人はいずれも3月まで同大学准教授を務めていた木暮祐一さん(現ソフトバンク、同大学非常勤講師)のゼミ生だったが、自分たちで会社の約款づく



「わたな」が立ち上げた地域情報サイト「Locoty青森」のトップページ

りや登記を行い、昨年11月に起業。情報サービス業などを手掛けるSPO(T(東京、花房寛社長)と提携し、茨城県で先行して行っていた地域情報メディア「Locoty 神栖・鹿行」のノウハウを基に技術面の支援を受け、Locoty青森の開設へ向け準備を進めてきた。新設したサイトでは各種イベン

ト情報のほか、自分たちが足を運んだ飲食店の紹介や伝統工芸品の情報、小野寺晃彦青森市長へのインタビュー記事、メンバーの祖母の監修を受けた津軽弁講座も盛り込まれており、県民だけでなく観光客にも興味を引く内容となっている。

9日には青森市役所に小野寺市長を訪ね、サイトの運営開始を報告。小野寺市長は「学生の起業ということで注目が集まると思う。東京では学生がどんどん起業し競い合っており、本県での先駆者となってほしい」と期待を込めた。

わたなはサイト運営のほか、今後は地元商店のホームページ制作や会員制交流サイト(SNS)代行などを請け負い、デジタル技術を活用した地域振興に取り組みたい考え。木暮さんは「これからは副業が当たり前の時代。サイトの運営を続けながら、卒業後は別の会社に就職してもいい。3人には、起業のノウハウを県内の別の若い人に広める存在となつてほしい」と述べた。

代表の山田さんは「現在は青森市内の情報を中心だが今後は金県に広げたい。市民が「何かしたいな」と思ったとき、調べようとするようなサイトにしたい」と語った。